

# 地域の助け合いで 冬を乗り切る

12月に入り、本格的な雪の季節に突入しました。北区は市内でも降雪の多い地域です。雪は北国ならではの天からの恵みである一方、時には日常生活に支障を来します。そんな中、雪に負けずに日常生活を送ってもらおうと、さまざまな人たちが北区各地で活動しています。

今回は、地域に貢献しようと活動している方々の取り組みを取材しました。

除雪作業をする篠路中学校の生徒の様子



雪出し作業も力を合わせて

雪出し作業も力を合わせて  
「僕たちでも大変な作業でしたから、高齢者の方はもっと大変な思いをされていたのでは」「仲間たちと一緒に地域の役に立ててうれいのです」と話す生徒たちからは、充実感が溢れていました。

「お世話になってい  
地域のの方に『自分たちが  
ができることで恩返し  
がしたい』という思い  
が、除雪ボランティア  
を始めるきっかけにな  
りました」と、話すの  
は同校の奥村拓教諭。

互いに声を掛け合い  
ながら、玄関先などに  
降り積もった雪を次々  
と雪捨て場へ運ぶ若者  
たち。高齢者宅の前に  
ある大きな雪山をあっ  
という間に片付けてい  
くのは、篠路中学校の  
生徒たちです。

## 地域へ感謝の恩返し

## 若い力で地域に貢献

（篠路中学校の除雪ボランティア）



あっという間に雪山を片付ける生徒たち

同校では、これまで  
もリングブルの回収や  
募金などのボランティ  
ア活動に積極的に取り  
組んでおり、除雪ボラ  
ンティアは、同校生徒  
会が中心となって実現  
させました。

また、同校に宛てた  
感謝の言葉が届くなど、地域からのうれい  
い反応も。奥村教諭は  
「地域の声の刺激にな  
ります。これからも、  
活動は継続していきたい  
ですね」と話します。

## 感謝の言葉が 新たな刺激に

除雪をしてもらった  
高齢者は「今年は雪が  
多く、家の出入りにも  
困っていました。除雪  
をしてくれるだけでは  
なく笑顔であいさつし  
てくれるのがうれしい  
です」と、感謝の気持  
ちを伝えます。生徒た  
ちの活動は地域との交  
流のきっかけにもなっ  
たようです。



感謝の声が届きました